

人と魚と海のネットワーク
 香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
 J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

J F 全漁連

漁協運動功労者表彰

白川 久 芳

観音寺漁業協同組合代表理事組合長



J F 全漁連は 11 月 19 日(金)平成 16 年度(第 19 回)漁協運動功労者表彰の式典と祝賀会を東京・虎ノ門パストラルで開催した。この表彰は、漁協系統運動の推進・発展に功労のあった者に対し、J F 全漁連が表彰しているもので、本年度は

本県から白川 久芳氏(観音寺漁業協同組合代表理事組合長)が受賞された。

白川組合長は、昭和 22 年より漁業に従事して以来、現在に至るまで 57 年の長きにわたり漁業一筋に従事している。昭和 39 年には観音寺漁業協同組合理事に就任し、昭和 63 年にはその人格・見識及び指導力を認められ組合長に就任した。長年にわたり組合の発展と円滑・適正な組合運営に努め、また、組合長就任と同時に香川県信用漁業協同組合連合会の理事に就任し、水産金融の円滑化に尽力するとともに組合員の漁業の近代化を促進し、漁業の振興及び漁業経営の安定に大きく貢献されている。

いて川北副知事、中條東かがわ市長をはじめ関係者約 50 名が出席して行われ、その後、午後 1 時からリーガホテルゼスト高松で、地元関係者に加え県内外の取引先関係者約 60 名が出席し祝賀会が催された。

このセンターは、平成 15 年度高度衛生管理型水産物供給施設モデル整備事業によるもので、衛生管理の行き届いた施設内に原魚搬入から出荷まで一貫した最新の加工機器を設置し、高品質なフィレー加工品を製造できるものとなっている。設備も含めた総事業費は約 3 億 6,400 万円。将来的に製品ベースで 1,000 トンの加工販売を目指す。

< 施設概要 >

延床面積 1162.31m²
 構造 鉄骨造平屋一部二階建
 規模・能力

- [加工処理施設] 原魚搬入室、一次加工室、二次加工室、包装室、検量梱包室
- [加工処理機器] ウロコ取機、頭部切断機、内臓除去機、魚体洗浄機、三枚卸機、水分除去機、真空包装機、金属探知機、計量器、梱包機
- [製氷・氷供給施設] 海水製氷/スラリーアイス搬送システム
- [陸上水槽施設] 4t 水槽 2 基
- [冷凍・冷蔵施設] 冷凍庫(-20)1 基、冷蔵庫(2)1 基
- [原魚供給施設] 海上台船(6m x 8m)1 基、小割生簀 8 台
- [廃水処理施設] 処理能力 50t/日



本会引田水産加工センター竣工!

11 月 13 日(土)ハマチ、カンパチ、タイなどをフィレーに加工する本会引田水産加工センターの竣工式および竣工祝賀会が開催された。竣工式は、午前 10 時から東かがわ市引田の加工センターにお

引田水産加工センター

京浜地域水産物流通懇談会等を東京・横浜で開催

本会では、香川県等との共催で、県産水産物の消費拡大を図ることを目的に「京浜地域水産物流通懇談会&量販店キャンペーン」を 11 月 2 日に築地市

場及び横浜市内の量販店で開催した。

午前 10 時より築地市場厚生会館会議室で開催した懇談会では、香川県側から真鍋知事、宮本農政水産部長、服部会長、嶋野県かん水組合長他 12 名が出席、流通関係者からは東京都水産物卸売業者協会の伊藤会長を始め、築地市場の荷受け 5 社、量販店等 4 社の水産担当部長等 10 名が出席した。真鍋知事の主催者挨拶、伊藤会長の来賓挨拶の後、まず香川県側から、県内水産業の概要として水産物の生産状況について、香川県かん水組合による養殖魚の品質向上への取り組みを説明し、流通関係者からは、最近の水産物の流通と消費の動向について報告を受けた。その後、昼食を取りながら養殖生産物について総合的な意見交換を行った。出席者からは、「今や安心・安全の取り組みは当たり前で、消費者は美味しさや鮮度を求めるようになってきている。そのためには、生販一体となつての取り組みが必要である。」とか、「香川県産のマコガレイ、メバルを取り扱っているが、もっと香川県産の天然魚が欲しいので、県漁連で取り扱ってもらえないか。」等の意見や要望が出された。また、話題提供として昼食のメニューにいったナシフグのてっさが大変美味しいので詳細を知りたい等、活発な意見交換が行われた。今回の懇談会では、荷受け、量販店等流通業者サイドの担当者から貴重な意見を聞くことができ、また将来に向けての香川県の水産業の課題が提示され、有意義な懇談会となった。

また、懇談会と並行して横浜市内のマルエツ井土ヶ谷店では、香川県水産物フェアと銘打って量販店キャンペーンを開催し、県産水産物等の PR と展示即売を実施した。主な販売品目は、東京支所の鮮魚、活魚、加工事業部の煮干し、ちりめん、海苔他、庵治漁協女性部の天ぷら実演販売等が盛大に行われ、来店者から好評を得た。会場にはおさかなシャトルも展示し、「お魚ビンゴゲーム」を午前・午後各 1 回実施しフェアを盛り上げた。県魚ハマチとマダイを使った「にぎり寿司」の試食会では、先着 200 名限定ということもあり、早くから長蛇の列ができ、提供が間に合わない程の盛況ぶりであった。午後 4 時 30 分には、真鍋知事、服部会長他懇談会出席者が同店を訪れ、フェア会場、鮮魚売場を視察した後、先着 300 名に香川県産「煮干し」をプレゼントしながら、買い物中の主婦らに県産水産物の購入を呼び掛けた。今回のフェアは、展示即売会、おさかなシャトルイベントとも大好評で、第 2 回開催の話題が出るほどであった。



大手量販店での消費拡大キャンペーン

ハマチ養殖体験ツアー

10月16日(土)直島漁協、10月30日(土)庵治漁協において、公募した主婦ら消費者合計約80人が参加し「ハマチ養殖体験ツアー」が開催された。

これは、昨今、消費者から「食の安全、安心」が求められている状況の中、県かん水養殖漁業協同組合(嶋野勝路組合長)が、都市と漁村の交流をとおりて養殖水産物への理解と地域活性化を図る取り組みとして、香川の魚類養殖を楽しみながら関心をもってもらおうと実施した。

参加者は、養殖現場で、餌やりや鮮魚の出荷状況等を見学、餌を求めて飛び跳ねるハマチ、カンパチに驚いたり、ハマチをタモですくい上げ活魚船に積み込む出荷作業では、きらめく魚体に歓声をあげていた。



飛び跳ねるハマチ・カンパチに驚く参加者

その後、ハマチの刺身など養殖魚を中心とした海の幸を堪能し、最後に養殖業者との意見交換を行った。とくに、食の安全性や海の環境保全に配慮しな

が行われている養殖の現状に感心していた。



熱心に説明を受ける参加者

「中讃のお魚びちびちとれたて市」開催

11月6日(土)、中讃2市2町の各漁協と行政でつくる中讃海域漁業漁村活性化協議会(会長 谷川実 宇多津町長)は、宇多津町のイベント広場で「中讃のお魚びちびちとれたて市」を開催した。このとれたて市は、魚に親んでもらい消費拡大につなげようと昨年に続いて今回で2回目。

会場は、新鮮で格安の魚介類を求める家族連れら約3千人が訪れ、宇多津、丸亀市、与島、本島の4漁協より水揚げされたタコ、カレイ、イダコ、クルマエビなど新鮮な魚介類がずらり並んだ。どれも、市価の約2割引の販売とあって、オープンと同時に主婦らが人垣を作り、タコめしやアナゴの天ぷらなどの加工品が人気を集めていた。このほか魚のさばき方教室や小学生以下の子供を対象にした「アジのつかみ取り大会」なども盛況だった。地産地消を推進するため来年度も開催する予定。



子供たちに大人気のアジのつかみ取り大会

新しい組合長紹介

(敬称略)

西詫間漁協

新任 三島朝弘
(平成16年10月16日)

退任 亀野修



第24回全国豊かな海づくり大会記念

「海を愛する子供たちの作品展」
絵画・習字・作文入賞作品の紹介

香川県知事賞



東かがわ市立引田小学校1年

梁木 怜南

高松市立川添小学校2年

南 愛花子



詫間町立詫間小学校 3 年

上村 美加

「びんぐしといっしょにおよぎたい」

坂出市立岩黒小学校 1 年 中村 寛大



「海の楽しいなかまたち」

国分寺町立国分寺北部小学校 2 年 久保 勇貴



「海の中のなかまたち」

飯山町立飯山北小学校 3 年 花田 拓海



「じいちゃんはタイ釣り名人」

香川大学教育学部附属高松小学校 4 年 古市 侑莉



主な行事予定 (12/1 ~ 1/4)

- 12月 7日(火) 平成17年度予算要望
- 10日(金) 第1回乾海苔共販
- 23日(木) 第2回乾海苔共販
- 24日(金) 漁連理事会
- 28日(火) 仕事納め

平成17年

1月 4日(火) 仕事始め